

登録コード	A3591388	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	YE RONGLING
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					プレゼンテーションに必要な技術を習得し活用できるようになる。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					最新の学術論文を素材として用いたプレゼンテーションを行う。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					プレゼンテーションに必要な技術を習得し活用できるようになる。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					最新の学術論文を素材として用いたプレゼンテーションを行う。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作成方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションの内容及び質疑応答並びに授業態度から判断し、評価します。評価点が60点以上を合格とします。 秀：～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点、不可：59点～						
(8)事前事後学習の内容	ご自身の研究に関連する文献を検索し、周辺情報を収集して下さい。また、プレゼンテーションの際の質疑応答を事後学習に役立てて下さい。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度とプレゼンテーションの内容により、評価します						
(11)質問、相談への対応および連絡先	叶：ye@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	ゼミで指導します。やむを得ない理由があるときには欠席の事前に許可を取ることが必要です。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）						